

九頭竜川水系 日野川ブロック 河川整備計画 の変更について

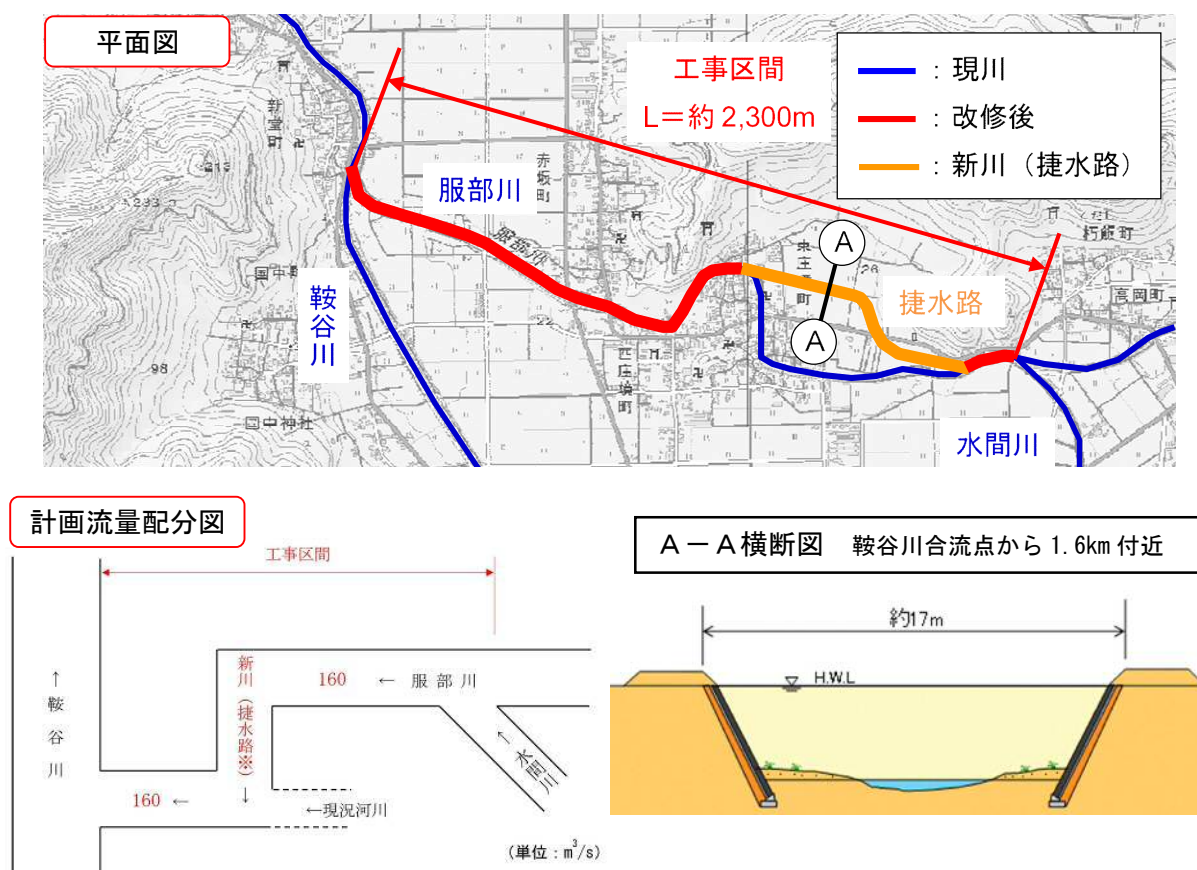
【 変更内容 】

現行の九頭竜川水系日野川ブロック河川整備計画では、服部川の治水対策として、「概ね10年に1回程度の確率で発生する降雨」による洪水を安全に流下させ、鞍谷川合流部から水間川合流部にかけて河道拡幅を行う計画を位置づけています。しかし、近年において服部川を含む周辺流域では現行の計画規模を上回る大雨が頻発しています。これらの豪雨状況や下流河川(鞍谷川など)の整備状況も踏まえ、近年の新たに得られた水位の実測データや雨量観測データをもとに、より精度の高い流出解析を行いました。

また、現行の「河道拡幅」では、家屋が集中している区間の移転対象が多く、社会的な影響が大きいことが懸念されています。これに対し、現行の「河道拡幅」による工事のうち、一部の家屋が集中している区間においては、新たに河川を付け替える工事を計画に位置づけました。

具体的には以下の内容について、整備計画の内容を変更します。

- ・服部川の計画規模を1/10から1/30とし、計画流量を以下の配分図のとおりとします。
 - ・中流部の家屋が集中している区間の工事として、新たに捷水路※による整備を計画します。
- (※捷水路(しょうすいろう): 河川の蛇行部をショートカットし、洪水を早く下流へ流すために人工的に開削した水路)



その他、「2 日野川ブロックの概要」、「3 日野川ブロックの現状と課題」については、社会情勢の変化や統計情報の時点更新、関係部局との協議を踏まえ、記載内容の一部修正を行いました。

【 備考 】

日野川ブロック他河川において、「5 河川整備の実施に関する事項」に記載されている「鞍谷川」は整備が完了したことにより記載を削除しています。その他河川(日野川、江端川、河和田川、天王川、吉野瀬川・吉野瀬川放水路、鹿蒜川、狐川)の計画については、変更はありません。